

# 共同事業実施状況(令和7年度)

## (1) 市が設置する各種審議会及び専門委員会等への人材派遣に関すること

番号	事業名	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和8年3月末時点)
1	伊勢原市行財政改革推進委員会	企画部 デジタル・行 政経営課	情報マネジメン ト学部 三浦 智恵子 教 授	市の行財政運営の点検を行い、伊勢原市行財政改革推進計画の進捗状況について意見を述べる。	<p>期 日 ①8月29日 ②11月18日 ③1月28日 ④3月24日</p> <p>場 所 市役所、市民文化会館</p> <p>内 容 伊勢原市行財政改革推進計画の進捗状況について</p> <p>参加者数 委員8名</p> <p>成果及び 課題 附属機関として市の行財政運営の点検を行い、評価していただいた。</p>
2	伊勢原市民文化会館運営審議会	市民生活部 市民協働課 市民文化会 館担当	情報マネジメン ト学部 森本 浩司 教 授	改修後の市民文化会館の管理運営について、指定管理者制度の導入の有無や受益者負担の適正化(使用料金の見直し)などの審議を行う。	<p>期 日 ①7月11日 ②10月21日 ③3月24日</p> <p>場 所 市民文化会館・練習室2</p> <p>内 容 市民文化会館の管理運営等について</p> <p>参加者数 ①7名 ②7名 ③5名</p> <p>成果及び 課題 改修後の市民文化会館の管理運営等について審議を行った。</p>
3	伊勢原市日本遺産協議会委員	経済環境部 商工観光課	情報マネジメン ト学部 兵頭 良純 准教 授	文化庁より認定を受けた「日本遺産 大山詣り」の周知・啓発を進め、観光誘客及び地域振興を目指す。	<p>期 日 5月21日</p> <p>場 所 市民文化会館</p> <p>内 容 令和6年度報告及び令和7年度計画の協議</p> <p>参加者数 16名</p> <p>成果及び 課題 「日本遺産 大山詣り」の周知啓発の令和7年度方針を決定した</p>
4	伊勢原市都市計画審議会	都市部 都市政策課	情報マネジメン ト学部 友寄 隆哉 教 授	都市計画案件に関する審議等を行う。	<p>期 日 ①8月12日 ②11月11日</p> <p>場 所 市役所 全員協議会室</p> <p>内 容 ①第8回線引き見直しに係る都市計画の変更について ②伊勢原都市計画生産緑地地区の変更について 他</p> <p>参加者数 ①13名 ②11名</p> <p>成果及び 課題 委員の委嘱と、都市計画の案等の事項に関して協議し、答申をいただいた。</p>

## (2) 市民活動、生涯学習活動、文化・芸術活動等への支援に関すること

番号	事業名	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和8年3月末時点)
1	伊勢原吹奏楽フェスティバル	市民生活部 市民協働課 市民文化会館担当	産業能率大学 吹奏楽部 SANNOWIND ド・オーケストラ	芸術・文化の普及・振興を行う。	期 日 6月15日 場 所 市民文化会館・大ホール 内 容 市内の吹奏楽団が一堂に会するフェスティバル形式のコンサート 参加者数 1,355名 成果及び課題 大ホール定員に対してほぼ満席の状況であった。

## (3) 産業、観光等地域経済の振興に関すること

番号	事業名	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和8年3月末時点)
1	伊勢原観光道灌まつりクリーンキャンペーン	経済環境部 商工観光課	湘南学生サービスセンター 情報マネジメント学部学生	伊勢原観光道灌まつりを通じて、健全な地域社会の発展及び人材の育成を目的として、協働活動による協力関係を推進する。	期 日 10月4日、5日 場 所 道灌まつり区域内 内 容 伊勢原観光道灌まつりにおける清掃活動の実施 参加者数 60名 成果及び課題 学祭のPRもしながら清掃活動を課題行っていた。
2	伊勢原観光道灌まつりへの出店	経済環境部 商工観光課	情報マネジメント学部 兵藤良純 准教授 兵藤ゼミ学生	伊勢原観光道灌まつりへの参加を通じ、市と大学との交流を深めるとともに、協働活動による協力関係を推進する。	期 日 10月4日、5日 場 所 日産自動車伊勢原バスターミナル(日産広場内) 内 容 飲食出店 参加者数 一 成果及び課題 本まつりへの参加を通じ、市と大学との交流を促進し、協力関係を推進した。
3	愛甲石田駅南口ロータリーふれあい祭	都市部 都市政策課	湘南学生サービスセンター 情報マネジメント学部学生	イベントの円滑な進行と地域住民とのふれあいの場を創出する。	期 日 5月18日 場 所 愛甲石田駅南口ロータリー 内 容 愛甲石田駅南口ロータリーふれあい祭りにおける司会進行 参加者数 2000名 成果及び課題 地域コミュニティの活性化に寄与した。
4	手作り石鹼ワークショップ	経済環境部 環境対策課	産業能率大学 柴田ゼミ学生	石鹼作りを通してSDGsの理念を理解し、大山阿夫利神社にて販売活動、ワークショップの企画運営を行う。	期 日 9月6日 場 所 大山阿夫利神社下社「客殿」「石尊」「拝殿」 内 容 手作り石鹼ワークショップ 参加者数 41名 成果及び課題 ワークショップを実施した。

#### (4) 市及び大学施設の相互利用に関すること

番号	事業名	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和8年3月末時点)
1	災害時における施設使用等に関する協定書	企画部 危機管理課	湘南管理課	災害時の施設使用に係る要請窓口及び担当者を確認する。	期 日 通年 場 所 危機管理課執務室 内 容 災害時協力協定に係る窓口・担当者確認 参加者数 ー 成果及び課題 災害時における連絡体制の強化を行った。

#### (5) その他

番号	事業名	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和8年3月末時点)
1	「情報マネジメント学部の学び方」における市長講演	企画部 経営企画課	情報マネジメント学部 小柴 達美 教授	学生が伊勢原市の魅力を理解し、伊勢原市で学生生活を送るうえでの自覚を持つよう、必修科目として市長講演を実施する。	期 日 4月18日 場 所 市役所政策会議室 内 容 新入生に向けて、市長講演を行った。 参加者数 教授等2名 成果及び課題 ー
2	瑞木祭における市長挨拶	企画部 経営企画課	瑞木祭実行委員会 湘南学生サービスセンター 堀内 治義 氏	瑞木祭の開催に対するお祝いとともに、学生が伊勢原市の魅力を理解してもらえよう、市長からの挨拶を行う。	期 日 11月8日 場 所 産業能率大学湘南キャンパス 内 容 瑞木祭の開催にあたり、市長から祝辞を述べた。 参加者数 ー 成果及び課題 ー
3	【新規】瑞木祭への参画	企画部 経営企画課 教育部 社会教育課 文化財係	瑞木祭実行委員会 湘南学生サービスセンター 堀内 治義 氏	市と本学との交流を深めるとともに、協働活動による協力関係を推進する。	期 日 11月8日、9日 ※「クルリン」出動は8日のみ 場 所 産業能率大学湘南キャンパス 内 容 浮世絵刷り体験ブースの出展及び市公式キャラクター「クルリン」の出動 参加者数 73名(市ブース来場者数) 成果及び課題 「大山詣り」をはじめとする市の歴史的魅力を発信した。
4	ソーシャルビジネス講義	企画部 経営企画課	情報マネジメント学部 兵藤 良純 准教授	地域の自治体の関わりや方針などについて、実例に触れることにより、地域の持つ特性や課題を認識し、ソーシャルビジネスの方向性について考察する一助とする。	期 日 11月18日 場 所 産業能率大学湘南キャンパス 内 容 伊勢原市のまちづくり 参加者数 学生100名 成果及び課題 ー

5	就業体験学生 (インターンシ ップ)実習事業	総務部 職員課	インターンシ ップ事務局(湘南 教務課) 松井 豊 氏	行政に参加する機会と情報を学 生に提供する。	期 日 8月4日～8月8日
					場 所 市役所ほか
					内 容 各所属における行政実習体験
					参加者数 2名
					成果及び 地域の大学と連携した人的資源 課題 の活用が図られた。
6	【新規】 令和7年度伊勢 原市職員採用試 験「学校推薦枠 試験」における 推薦依頼	職員課	産業能率大学 湘南事務部 湘 南キャリアセン ター長 中野 剛 氏	伊勢原市と包括的協定を結んで いる大学を対象に、学校推薦枠 試験を行い、学生生活での取り 組みや成績が評価される仕組み を作ることで、優秀な人材を確保 することを目的とする。	期 日 11月～2月
					場 所 伊勢原市役所(試験会場)
					内 容 職員採用試験の実施
					参加者数 3名
					成果及び 3名の学生を採用とした。 課題
7	大学生向け食育 情報等の配架	保健福祉部 健康づくり課	湘南学生サー ビスセンター	産能大学生の食生活について 意識調査を実施し、集計結果を 大学に提供することで、学生自ら が食生活の傾向について理解を はかれるようにした。	期 日 1月
					場 所 学内電子掲示板
					内 容 食育に関する情報
					参加者数 一
					成果及び 年度ごとに違うテーマの情報提 供ができています。 課題
8	SANNO CUP 2025開会式にお ける市長列席	保健福祉部 スポーツ課	湘南学生サー ビスセンター 情報マネジメ ント学部学生	SANNO CUP 2025開会式にお いて、市長が祝辞の述べる。	期 日 10月11日
					場 所 産業能率大学 湘南キャンパス ビーチバレーコート
					内 容 開会式における列席及び祝辞
					参加者数 16チーム160名
					成果及び 市長が列席し祝辞を述べた。 課題
9	【新規】 伊勢原球場リ ニューアル記念 事業	保健福祉部 スポーツ課	湘南学生サー ビスセンター 情報マネジメ ント学部学生	新生スコアボード披露イベントの 企画運営への協力。	期 日 5月10日
					場 所 伊勢原球場
					内 容 伊勢原の魅力を活かした動画作 成、大型ビジョンを活かしたイベ ント企画
					参加者数 35名
					成果及び イベント準備にてご協力いただ いた。 課題
10	【新規】 子ども科学館入 館者対象事業 「ぬりぬりマス ター」実施協力	教育部 図書館・子ど も科学館	情報マネジメ ント学部 矢田 木綿子 教授	市と本学との交流を深めるとも に、協働活動による協力関係を 推進する。	期 日 8月5日、7日
					場 所 子ども科学館
					内 容 イベント補助(参加者誘導、操作 説明等)
					参加者数 71名
					成果及び イベント当日の事業補助を行っ ていただいた。 課題